

# 【南区】在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

## 「想いを共有しよう」

【開催日時】 平成26年3月24日(月) 19:00~21:00

【開催日時】 流通情報会館

【内 容】

1)グループワーク「想いの共有と課題解決へのワンステップ」

グループワーク→



### 参加者 185名 (南区の関係者中心)

|              |     |           |     |          |     |
|--------------|-----|-----------|-----|----------|-----|
| ・ 医師         | 6人  | ・ 薬剤師     | 8人  | ・ 社会福祉士  | 13人 |
| ・ 看護師        | 30人 | ・ 理学療法士   | 10人 | ・ 介護福祉士等 | 2人  |
| ・ (内訳) 病院    | 10人 | ・ 作業療法士   | 33人 | ・ 区役所    | 2人  |
| ・ 診療所        | 3人  | ・ 言語聴覚士   | 2人  | ・ その他    | 19人 |
| ・ 訪問看護ステーション | 9人  | ・ 栄養士     | 1人  |          |     |
| ・ その他        | 8人  | ・ 介護支援専門員 | 40人 |          |     |
| ・ 歯科医師       | 2人  | ・ MSW等    | 4人  |          |     |
| ・ 歯科衛生士      | 3人  | ・ 相談員等    | 10人 |          |     |

# グループワークで出された意見(一部抜粋)

## テーマ「想いの共有と課題解決へのワンステップ」

情報共有ツールが必要

同職種間・多職種間の連携体制づくり

病院スタッフにも在宅生活を知ってほしい

相手の立場で情報提供

担当者会議や退院時カンファで顔の見える関係づくりを

退院後の生活を知りたい(双方向の情報共有を)

ケアマネへの情報集約ができていない

退院時カンファに院外スタッフが参加できない。コメディカルも参加したい。

本人と家族で意見の相違がある

ケアマネのがんばり次第

退院後の再入院が多い。在宅での管理ができていない?!

利用者側(市民)に在宅医療を実感してもらう機会を

在宅医が増えてほしい

介護認定を早くしてほしい

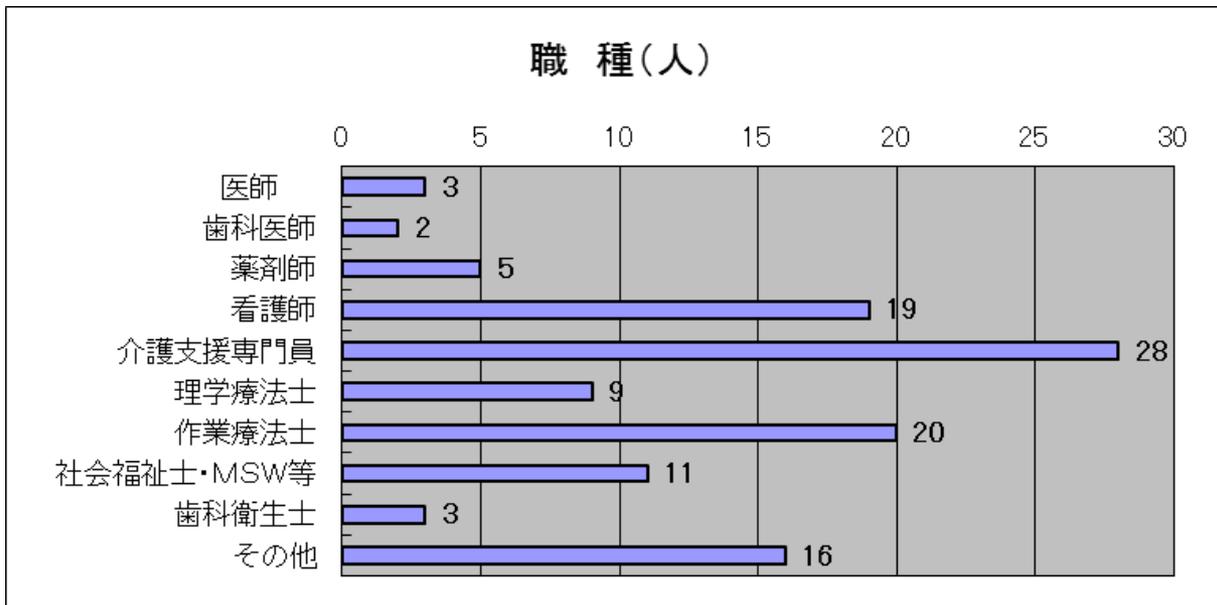
市民にも2025年問題を理解してほしい

医師との関わりが難しい(信頼関係の構築)

# 研修会後のアンケート

回答数 111 (回答率 60%)

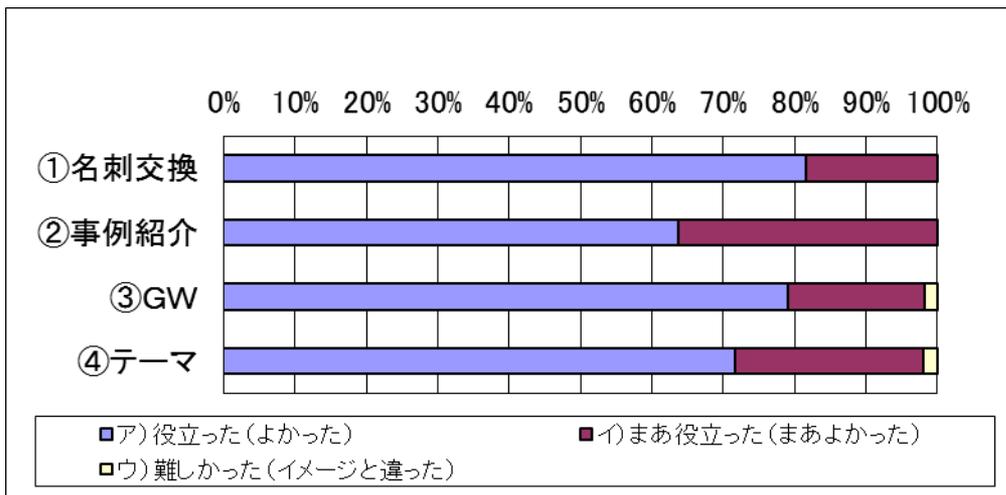
## 1 回答者



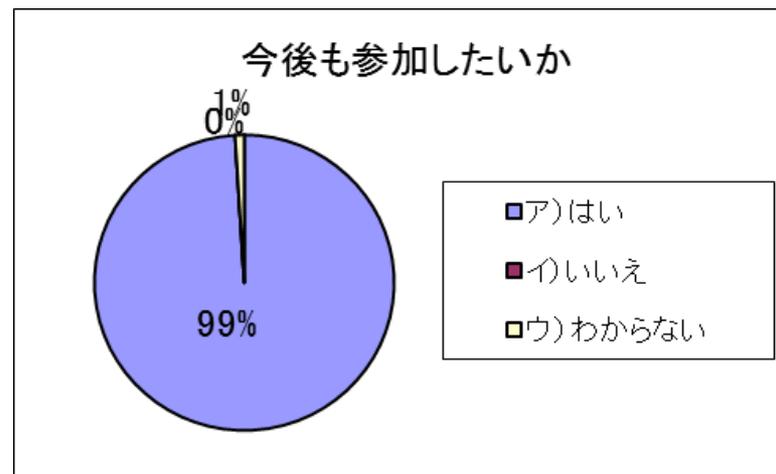
3 今回の研修会で新たに知り合った人数

平均 6.4人

## 2 プログラムについて



## 4 今後も参加したいか



## 4 研修会に関するご意見・ご感想 (一部抜粋)

- ・ 主治医の意見、情報共有の難しさはいつでも課題になっていると感じた。解決が難しいことに驚いた。一連の利用されている事業所同士の話し合いがあれば何が不足しているのか見える関係が構築できると思う
- ・ たくさんの職種の方々が集まって話し合いが持ててとても良かった。多職種がどの様な支援ができるのかななどを深く知ることができると良い
- ・ 短時間で充実していた。医師の参加が良かった。
- ・ 「想いの共有」は出来たと思う。課題解決に向けて今後どのようなことが必要か？今回のような研修をもっとしていく必要があると思う。グループの中に病棟の方がいなかったなので、入れてもらいたかった
- ・ 在宅医療に関わる職種の方々と顔見知りになれて良かった。交流の場を定期的に持てると今後の連携に繋がると思う
- ・ それぞれの職種での取り組みや悩みを知ることができて良かった。参考になる話も聞いた。でもテーマが多くてなかなか踏み込んだ話や具体案が出にくかったと思う。
- ・ もう少し掘り下げて話をしていきたかったが時間が足りなかった
- ・ テーマを一つに絞って話したほうが良いかと思った。何回も会をすることで問題点も見えるかと思った